

三菱ふそう

大型バス MS8 '93モデル

シャシ 整備解説書



トバ技セ 商品総括部
サービス資料グループ
持出 厳禁

三菱自動車

D9205 ①バス

三菱ふそう

大型バス MS8型

シャシ 整備解説書

まえがき

この整備解説書は、三菱ふそう大型バスの整備にあられる皆様のために、調整要領及び整備作業要領を記載してあります。

正しい整備、無駄のない迅速な整備を行うため、本書を十分ご活用されますようお願いいたします。

本書の他に次の関連整備解説書がありますので併せてご活用ください。

- ・大型バス6D2, 6D4, 8DC型エンジン整備解説書 (コードNo.2038910E)
- ・大型バス電気リカルシステム整備解説書 (コードNo.2033264C)

ご不明な点につきましては、最寄りの三菱ふそう販売会社にお問い合わせください。

本書に記載してあります諸元及び整備数値等は、その後の改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

1992年10月

適用車種

U-MS系

平成元年排出ガス規制適合車

三菱自動車工業株式会社

本書の編集

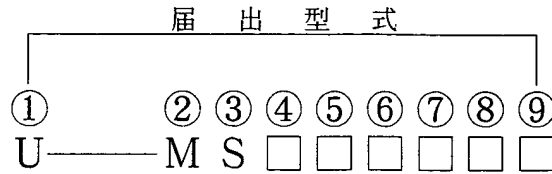
ゼネラル	00
エンジンの脱着	10
クラッチ	21
トランスミッション	22
プロペラシャフト	25
フロントアクスル (リジッド)	26A
フロントアクスル (インデペンデント)	26B
リヤアクスル	27
ホイール・アンド・タイヤ	31
フロントサスペンション (エア)	33
リヤサスペンション (エア)	34
ブレーキ (エアオーバ)	35A
ブレーキ (エア)	35B
パーキングブレーキ	36A
パーキングブレーキ (ホイールパーク)	36B
ステアリング	37
スペシャルイクイPMENT (オートグリスタ)	61
ツール	91

本書の編集

1. 型式記号表示要領 2
2. グループ分類 5
3. 用語, 単位 7
4. 記載内容の説明 7

1. 型式記号表示要領

(1) 車両型式



U—		M	S	8	21	P	A	Q
番号	①	②	③	④	⑤⑥	⑦	⑧	⑨
区分	公害規制適合を示します。	車種区分を示しリヤエンジン、フレームなしバスはすべて「M」を付けます。	基本積載量及び駆動方式を示します。	同一車種内での開発順位を示します。	改造順及びエンジン区分を示します。	ホイールベース区分を示します。	車両の仕様区分。	車両の種別、用途、形状等の仕様区分。
記号	平成元年度規制適合車	M リヤエンジン、フレームなし	S 10トンクラス 4×2	5 / 9 エアサスペンション	15 8DC9	M 5.3~5.6	A フルエアブレーキ車	D デラックス観光
	21 8M20				N 5.6~5.9			
号	※本書では省略してあります。				26 8DC10	P 5.9~6.2		H (ハイデッカボデー)超デラックス観光
						S 6.5~6.8		
						以上~未満(m)		Q スーパーハイデッカ

(2) 装置型式表示要領

装置名		型式表示	記号説明
エンジン	DC	8 D C 9 2 A	自動車用 (A : Automobile) 改造順 シリーズ内開発順序 シリーズ別開発順 (C : 継続生産機種) ディーゼルエンジン (D : Diesel) シリンダ数
	8M2	8 M 2 0 0 A	自動車用 (A : Automobile) 改造順 シリーズ内開発順序 シリーズ別開発順 ディーゼルエンジン シリンダ数
クラッチ		C 12 W 43	ディスク外径 フェーシング材質 (W : ウーブン, M : セラメタ) *主として使用される機種のトン数 クラッチのイニシャル
トランスミッション		M 12 S 6	前進変速段数 かみ合い方式 (S : シンクロメッシュ) *主として使用される機種のトン数 トランスミッションのイニシャル
プロペラシャフト		P 12	*主として使用される機種のトン数 プロペラシャフトのイニシャル
フロントアクスル		F 8 B	機種の区分 (B : バス) *主として使用される機種のトン数 フロントアクスルのイニシャル

*トン数はトラックトン数で、バスの場合はエンジン出力、使用条件等により使用する装置をトラック部品より選択している。

装置名	形式表示	記号説明
リヤアクスル		<p>機種区分 (B : バス)</p> <p>*主として使用される機種の数</p> <p>リヤアクスルのイニシャル</p>
リダクション・アンド・デファレンシャル		<p>歯形 (H : ハイポイドギヤ, S : スパイラルベベルギヤ)</p> <p>*主として使用される機種の数</p> <p>リダクション・アンド・デファレンシャルのイニシャル</p>

*トン数はトラックトン数で、バスの場合はエンジン出力、使用条件等により使用する装置をトラック部品より選択している。

2. グループ分類

本書は、系統別にグループ分類し編集してあります。

グループNo	グループ名称	内 容
00	ゼネラル	外観図, パワーライン一覧表, 主要諸元, 走行性能曲線図, シヤシ番号, エンジン番号, 整備基準表, 締付けトルク表, シール剤・油脂類一覧表, 定期交換部品一覧表
10	エンジン脱着	エンジンの車両からの取外し, 取付け, 整備基準
21	クラッチ	クラッチ本体, クラッチペダル, クラッチマスタシリンダ, クラッチブースタ, クラッチハウジング, クラッチ系統のブレーキ液交換, エア抜き, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
22	トランスミッション	トランスミッションの脱着, トランスミッション (メインシャフト, カウンタシャフト, ギヤシフト, パワーシフト, パワーシリンダ), トランスミッションオイルクーラ, トランスミッションコントロール, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
25	プロペラシャフト	プロペラシャフト, ユニバーサルジョイント, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
26A	フロントアクスル (リジッド)	ホイールハブ・アンド・ブレーキドラム, フロントアクスル, ナックル, キングピン, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
26B	フロントアクスル (インディペンデント)	ホイールハブ・アンド・ブレーキドラム, フロントアクスル, ナックル, キングピン, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
27A	リヤアクスル	ホイールハブ・アンド・ブレーキドラム, リヤアクスル, ナックル, キングピン, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
31	ホイール・アンド・タイヤ	タイヤ, ディスクホイール, 諸元, 整備基準, トラブルシューティング
33	フロントサスペンション (エア)	エアスプリング, レベルリングバルブ, ショックアブソーバ, スタビライザ, エアサプライバルブ, ECS (電子制御サスペンション), 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
34	リヤサスペンション (エア)	リーフスプリング, ショックアブソーバ, エアスプリング, スタビライザ, レベルリングバルブ, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
35A	ブレーキ (エアオーバ)	ブレーキ系統 (エアコンプレッサ, エアドライヤ, デュアルブレーキバルブ, エアマスタ等) ホイールブレーキ, エキゾーストブレーキシステム, ブレーキ液のエア抜き, 交換, リターダシステム, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
35B	ブレーキ (エア)	ブレーキ系統 (エアコンプレッサ, エアドライヤ, デュアルブレーキバルブ, リレーバルブ等), ホイールブレーキ, エキゾーストブレーキシステム, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
36A	パーキングブレーキ	パーキングブレーキレバー, ストロークスイッチ, ブレーキドラム, 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング

グループNo.	グループ名称	内 容
36B	パーキングブレーキ (ホイールパーク)	ハンドコントロールバルブ, ブレーキチャンバ, 諸元, 整備基準
37	ステアリング	ステアリング系統 (ステアリングホイール, ステアリングシャフト, ステアリングリンケージ, パワーステアリングブースタ, パワーシリンダ, オイルポンプ, オイルタンク, 2段制御車速感応式パワーステアリング装置等) 諸元, 整備基準, 特殊工具, トラブルシューティング
61	スペシャルイクイPMENT (オートグリスタ, グリスオ マツト)	オートグリスタ給脂系統, グリスオマツト給脂系統, オートグリスタのエア抜き, グリスオマツトのエア抜き, 諸元, トラブルシューティング
91	ツール	特殊工具一覧表

注意!

ページ番号は各グループごとに「1」からはじまります。

3. 用語, 単位

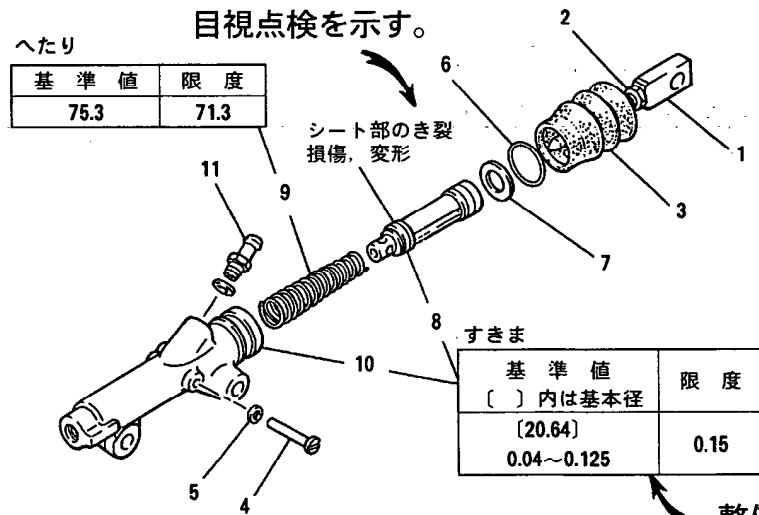
本書の用語, 単位は次のように定めている。

- (1) 前後
車両の進行方向側を前, 進行方向と反対側を後とする。
- (2) 左右
車両の進行方向に向かい, それぞれ左及び右とする。
- (3) 整備基準用語
 - ・基準値
設計上の呼び寸法, 部品単一の設計上の寸法または部品を組立てたときの部品相互の標準すきま, あるいはアセンブリの標準性能を示す。
〔 〕内は基本径を示す。
 - ・限度
性能上, 強度上からこれ以上使用できず, 部品交換または修理を必要とする数値である。

- (4) 締付けトルク
ボルト, ナット等の締付け過不足は性能上とくに重要である。したがって, 締付け部位によっては締付けトルクを規定している。
ウェットの状態で締付けなくてはならない個所には, ウェットと指示している。指示がない個所はドライ状態と判断し規定の締付けトルクで締付けること。
規定してない部位の締付けは, 一般ボルト, ナットの締付けトルク表に基づき行う。
- (5) 単位
長さ, 重さ, 面積及び体積等はメートル法表示で指示している。温度については, 摂氏℃表示で指示している。

4. 記載内容の説明

(例1: 分解, 点検)



整備基準を示す。 E0485A

分解順の一例を示す。

〈分解順〉

- | | | |
|---------------|----------------|-------------|
| 1 プッシュロッド | 5 ガasket | 9 リターンスプリング |
| 2 ロックナット | 6 ピストンストップリング | 10 シリンダ |
| 3 ブーツ | 7 ピストンストッププレート | 11 ニップル |
| 4 サプライバルブストップ | ⑧ ピストン | |

本文中に分解要領の説明があることを示す。